

こんにちは 町長です

～旧長若中学校が生まれ変わります～



皆様へもご案内のように平成28年4月1日から町内に4校あった中学校が1校になり、3校が廃校となっておりました。私は、平成29年10月の町長選挙に出馬する際の公約として、これら空き公共

施設の利活用による地域活性化に取り組むことを掲げ、公約実現に向けてこの5年間取り組んでまいりました。今までの主な実績としては埼玉県山山西省友好記念館が廃館となり、埼玉県から町に譲渡を受けボルダリング施設に改修し、クライミングによるまちおこし事業の中核施設として生まれ変わりました。また、旧クアパレスおがのは、地元企業に貸し出し、現在はバイクの森として再生し、多くのライダーで賑わっています。旧両神中学校は町内の文化財等の収蔵庫として活用しており、将来的には文化財等の展示場としての整備を考えています。その他、旧鳳鳴館は軽食・喫茶店に、旧西秩父農林産物直売所はキュウリの選果場として利用されています。旧倉尾中学校体育館下部の駐車場は蜂蜜酒（ミード酒）の醸造所となっています。なお、旧三田川中学校はテレビCM等の撮影場所などとして利用されていますが、本格的な利活用については今後検討を進めてまいります。

そして、この度町では、旧長若中学校をリングロー株式会社（本社・東京都豊島区）に貸し出し、「長若集学校」として再スタートしてもらうこととなりました。旧長若中学校の利活用に当たっては、町民ワークショップを開催し、今後の利活用案を広く町民の方々からご意見等をいただき利活用基本計画を策定いたしました。この計画に基づき町の活性化、町の産業振興及び地域コミュニティの活性化などの公益性の高い事業、さらに新たなビジネスチャンスを創出できる提案を民間事業者から募集することといたしました。

事業者は広く町内外から公募し、町空き公共施設利用者選定委員会で審査し、議会の議決によりリングロー株式会社に決定いたしました。リングロー株式会社は中古OA・IT機器のリユース業を全国展開している会社で、旧長若中学校を「長若集学校」として再活用し、再び人々が集う場所を目指すとともに、地域へのIT普及や雇用創出、地域イベントの参加や企画・実施を通じて地域活性化を目指した施設運営をすることとしています。プレオープンは本年12月、開校は来年3月を予定しておりますが、施設の改修は先に進めるのではなく、営業を先に初めて小鹿野町をはじめ地区住民等の意見を聞きながら提案事業に沿い、「長若集学校」にふさわしい改修を進めることとしています。

リングロー株式会社は、廃校を利活用した同様の施設「○○集学校」を9月末日現在、全国に11校開校しております。私も既に開校された千葉県長南町の「長南集学校」を視察してきましたが、無料Wi-Fiが完備してあり無料開放している交流スペースでは町民の方が集会やイベントの場所として利用されたり、パソコンやスマートフォンの無料相談を受けたり、また、空き教室は地元の方が木工作業場兼体験教室会場として、さらには都内のIT関連事業者がサテライトオフィスとして利用されるなど多様な活用がなされ、大勢の人たちが集い、交流する場所として再生されておりました。

私としては、旧長若中学校が「長若集学校」として町の新しいコミュニティの場所に生まれ変わることを期待しております。ぜひ、町民の皆様も気軽にご利用くださるようお願いいたします。また、空き教室をお借りしたい、利用したい方がいらっしゃればリングロー株式会社や町までご相談ください。お待ちしております。

小鹿野町長 森 真太郎